

日 時： 2026年3月2日（月） 11:20～12:10 場所： 喜名公民館 2階和室

参加者： 生徒2名、高宮城先生（スクールサポーター）
西平氏（てのひら助産院）、港川氏（みんなの保健室）
安里（喜名自治会長）、佐渡山（琉球のタネ）

時刻	内容
11:20～	<p>1. 男性器の衛生管理と習慣 男子生徒向けに、具体的な身体のケアについての指導が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗い方の指導: 包皮を優しく剥いて汚れを落とすこと、無理に剥いて傷つけないこと、石鹸で優しく洗うといった具体的なケア方法が伝えられました。 ● 排泄の習慣: トイレを汚さないための工夫として、座って用を足す習慣や、立つて行う場合の飛び散り防止策について話し合われました。
11:35～	<p>2. 性感染症予防と避妊（コンドームの正しい知識） 実物やモデルを使用し、実践的な知識の共有が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理方法: 財布に直接入れると劣化（摩擦による破損）のリスクがあるため、ケース等に入れるべきであること。 ● 目的の再確認: 避妊は100%ではないこと、そして妊娠だけでなく性感染症（エイズ、梅毒、クラミジア等）の予防に不可欠であること。 ● 使い方の実演: パッケージの開け方、裏表の確認、先端の空気を抜く手順、使用後の処理方法などが詳しくレクチャーされました。
11:45～	<p>3. キャリア形成と「逆算」の思考法 将来の生活を具体的にイメージするためのワークが行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逆算（バックキャストिंग）: 「10年後の理想の自分（車、バイク、生活）」を先に決め、そこから今何をすべきかを考える手法が紹介されました。 ● 経済的自立のシミュレーション: <ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄の初任給平均（大卒22万、高卒16～17万）と、固定費（約15万）の現実的な比較。 ○ 子育てにかかる費用（1人あたり月6～8万）を計算し、自分の趣味に使えるお金がいくら残るかを具体的に算出しました。
11:50～	<p>4. 専門職（理容・美容）の視点と健康管理 講師の経験に基づき、仕事の選び方や職業病、生殖健康への影響が語られました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理容と美容の違い: 免許（刃物の使用可否）の違いや、通信制で働きながら資格を取るルートについての紹介。 ● 経皮毒と生殖への影響: カラー剤などの薬品は頭皮から吸収されやすく、男性の精子や女性の子宮へ影響を与える可能性がある点について注意喚起がなされました。 ● 精子の健康管理: 精子は熱に弱いため、締め付けすぎない下着（トランクス推奨）や、高熱時の冷却の重要性が説明されました。
12:00～	<p>5. 若年妊娠と責任・パートナーシップ 「もし妊娠したら（させたら）」という問いに対し、社会的な責任と覚悟について深い議論がなされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 男性側の覚悟: もし妊娠が分かった際、逃げずに彼女をサポートし、経済的・精神的に支え続ける「カッコいい男」であるべきだというメッセージが送られました。 ● 事前のコミュニケーション: 「今、子どもができて産めないなら（性交渉を）しない」という選択肢を含め、パートナーと事前に対話することの重要性が強調されました。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">● 地域のサポート：困ったときに一人で抱え込まず、専門家に相談できるよう「みんなの保健室」の公式LINE（QRコード）が紹介されました。 |
|--|---|

総括：生徒たちは、最初は照れが見られたものの、実物を使ったレクチャーを通じて、徐々に聞き入る姿が見られました。特に「15歳の壁」を越えるための具体的な進路（通信制など）の話や、自分の身体を守るための知識は、彼らにとって重要な「生きる力」としてのヒントになったと考えられます。

<写真記録>

